

血中から高濃度PFOA・FAS

東京・多摩地域住民 「横田基地も汚染源」

米軍横田基地周辺をはじめ ことが8日、分かりました。

値を超えました。

め東京都多摩地域の水道水などから、発がん性や免疫抑制など健康影響が指摘される有機フッ素化合物(PFOA・FAS)が検出されている問題で、国分寺・立川など8市で住民の血中から高濃度のPFOA・FASが検出された

住民でつくる「多摩地域明らかにする会」が記者会見し、昨年11月～今年3月に27区市町村の650人から採取した自主血液検査の結果を公表しました。

これによると、ほぼ全ての人からPFOA・FASを検出。

平均血中濃度はPFOAやPFOAなど4物質の合計で1.7ナノモル当たり23・4ナノモルと、米国学術機関「科学アカデミー」が設けた健康リスク指標値(7物質合計20ナノモル)を上回りました。

10人以上から採血した20

市町632人で見ると、国分寺市で4物質計45・0ナノモル、立川市28・6ナノモル、武蔵野市27・2ナノモルをはじめ8市で平均血中濃度が米国の指標値を上回りました。

国分寺市では採血者の94%

、立川市では74%が指標



血液検査の結果を報告する

原田准教授(右から3人目)
6月19日、東京都立川市

検査結果を解析した原田

浩一・京都大学准教授は汚

染源について「フッ素を扱

う工場や、空港・石油コン

ビナートなど泡消防火剤を使

った場所が考えられる。上

流側と下流側の濃度差を考

えると、横田基地は汚染源

の「一つ」と指摘しまし

た。

「明らかにする会」は今後、200人の追加血液検査、井戸水や湧水などの水質検査を予定。社会医療法人社団健生会では、血液検査した人を対象に相談外来を行っています。